

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成30年3月30日

計画の名称	大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出と都心居住の促進										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成26年度～平成29年度（4年間）					交付対象	大垣市										
計画の目標	大垣駅周辺の賑わいと憩いの創出のため、①賑わいと活力ある中心地の再生、②中心地の交流と憩いの場づくり、③歴史的資源を活用した観光まちづくりを行い、都心居住の推進を図る。																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 駅周辺利便性満足度を18%（H25年度）→40%（H29年度）に増加。 歩行者及び自転車通行量を9,747人/日（H25年度）→9,880人/日（H29年度）に増加。 地区内居住人口を8,658人（H25年度）→8,400人（H29年度）に減少を抑制する。 																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H26年度当初)	中間目標値 (H28年度末)	最終目標値 (H29年度末)	※中間目標は任意			
① 駅周辺利便性満足度を測定する。											18%	－	40%				
② 歩行者及び自転車通行量を測定する。											9,747人	－	9,880人				
③ 地区内居住人口を測定する。											8,658人	－	8,400人				
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	2,415	百万円	A	2,404 (うち提案事業 分69百万円)	百万円	B	0	百万円	C	11	百万円	D	0	百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.5%

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期		事後評価の実施時期	
事後評価の実施体制	大垣市 内部評価	事後評価の実施時期	平成30年2月～3月
		公表の方法	大垣市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-A-1	都市再生	一般	大垣市	直接	大垣市	大垣駅周辺地区都市再生整備計画事業	168ha 道路、公園、地域生活基盤施設、 高質空間形成施設、地域創造支援 事業、事業活用調査	大垣市						750	－		
1-A-2	住宅	一般	大垣市	間接	組合	大垣駅南街区市街地再開発事業	地区面積／約1.5ha、延床面積／ 約37,500㎡	大垣市						1,654	－		
合計													2,404	－			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
1-C-1	住宅	一般	大垣市	直接	大垣市	まちなか住宅取得支援事業	利子補給金	大垣市						11			
合計													11				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	
1-C-1	大垣駅南街区市街地再開発事業（1-A-2）と一体的に整備することにより、中心市街地の外部から中心市街地への居住を促し、都心居住を図る。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				
合計													0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		計画事業の実施により、駅周辺の利便性及び地区内の回遊性・魅力が向上し、中心市街地の拠点性の低下の抑制につながるとともに、歴史的・文化的な地域資源と一体となった整備を実施することで、地区内のイベント等他事業と相まって、来訪者の誘客促進が図られ、来訪者が増加するなど、まちの賑わいの再生に貢献した。			
II 定量的指標の達成状況	指標①（駅周辺 利便性満足度）	最終目標値	40%	目標値と実績値 に差が出た要因	計画事業の実施により、駅周辺の安全で快適な利用環境が形成され、目標値を上回る、来訪者や住民の満足度の向上につながった。
		最終実績値	42%		
	指標②（歩行者 及び自転車通行 量）	最終目標値	9,880人／日	目標値と実績値 に差が出た要因	駅周辺の利便性の向上に加え、歴史的・文化的な地域資源と一体となった、風情ある都市景観の形成を意識した計画事業の実施により、地区内の回遊性や魅力が向上し、来訪者の誘客促進が図られ、目標値を上回る、休日の歩行者及び自転車通行量の増加につながった。
		最終実績値	10,250人／日		
	指標③（地区内 居住人口）	最終目標値	8,400人	目標値と実績値 に差が出た要因	目標値を達成することはできなかったものの、平成28年度では8,354人となり目標値に近づいている。また、この年は対前年198人の増加となり、平成10年度以降減少を続けてきた地区内居住人口が増加に転じた。
		最終実績値	8,270人		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>指標の計測時に実施した、住民や来訪者を対象としたアンケート調査において、「大垣駅周辺地区についてどのような街として発展してほしいですか」（自由記述）との間にて意見聴取したところ、「以前より綺麗になった」、「いろいろなイベントをやっていて賑わっていると思う」など、計画事業の効果の発現が確認できるような回答を得ることができた。</p> <p>また、大垣駅南街区市街地再開発事業の整備効果により、住宅販売において全112戸が即日完売するなど、駅周辺における住宅・店舗の需要が高まりつつある。</p>			
3. 特記事項（今後の方針等）					
<p>今後も引き続き、市民意向を把握しながら、歴史・文化等の地域資源と調和を図りつつ、都市機能の拡充に向けた計画的なまちづくりを推進していく。</p>					

(参考図面) 地域住宅支援

